

2012年11月19日

各位

DAIKYO 大京グループ

**大京アステージ、横浜市の「横浜スマートシティプロジェクト」に参画
既存マンションのスマートマンション化に向け実証事業を開始
不動産サービス事業に賛同した 10 社で大京コンソーシアムを組成
～ 経済産業省「平成 24 年度次世代エネルギー・社会システム実証事業費補助金」に採択～**

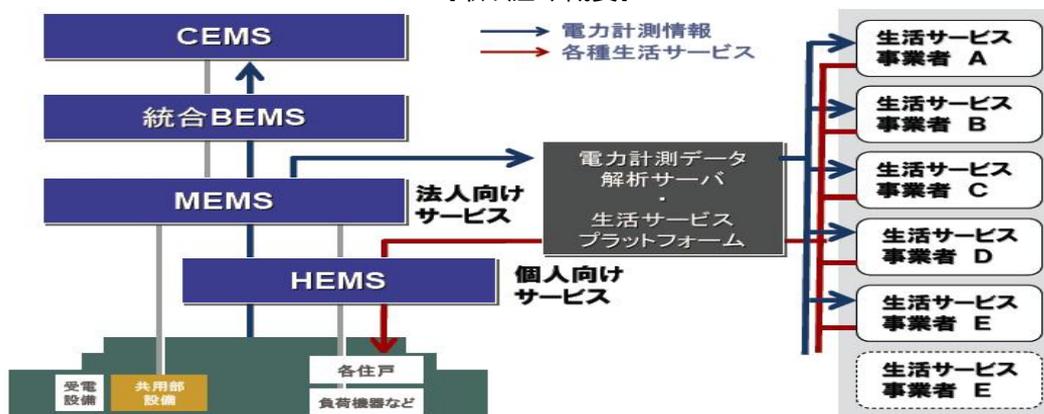
大京グループのマンション管理事業等を手掛ける株式会社大京アステージ（本社：東京都渋谷区、社長：益田知）は、経済産業省の次世代エネルギー・社会システム実証事業（「平成 24 年度次世代エネルギー・社会システム実証事業費補助金」）に応募しておりましたが、8 月に一般社団法人新エネルギー導入促進協議会の審査を経て、補助対象事業者に決定しました。この決定を受け、横浜市における次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクトである、「横浜スマートシティプロジェクト（YSCP）」に参画し、一般世帯向けのエネルギーマネジメントシステム（HEMS）を構築するため、不動産サービス事業に賛同した 10 社と大京コンソーシアムを組成し、既存マンションのスマートマンション化に向け実証事業を開始いたしましたので、お知らせいたします。

実証事業の概要について

当事業は、YSCP に参画し、横浜市の一般家庭部門での実証【HEMS、MEMS（CEMS との連携）】のもと、マンション居住者およびコミュニティとの接点を活かして、既存マンション内の最適なエネルギーマネジメント（電力の見える化システム）の導入および今後のエネルギー関連分野に即した形での周辺サービスの拡大を行うことで、居住者の「安心」や「快適」を向上させながら、低炭素かつ多面的な省エネを推進したコミュニティの実現を企図しております。

大京アステージでは、この趣旨に賛同するマンション居住者向けサービス事業者を、「大京コンソーシアム」として組織し、マンション居住者に対するサステナブルなサービスモデルの検討を進めてきました。本事業の実証テーマは、将来的な事業展開を見据え、大京コンソーシアムで検討するサービスモデルの実現性と効果を実世帯で検証するものです。

【取り組み概要】



（ YSCP 実証事業の全体像 ）

既にインフラが整備されている都市において、快適かつ低炭素な都市の実現に向けて、CEMS を中心とした地域エネルギーマネジメントシステムの開発・運用と PV 等の普及・活用促進により、住民とエネルギーの関わり方の変革を目指すものです。

実証事業の内容について

1. 当社が横浜市内で管理受託しているマンション（最大4棟200戸）を対象。
2. HEMS、MEMS 機器から計測されるエネルギーデータを各種解析し、居住者へ見える化されたデータ等を表示できるシステムを当社で構築。
3. 本趣旨に賛同する生活者向けサービス事業者と「大京コンソーシアム」を組成し、エネルギーデータと連携した新サービスを創出するシステムを各事業者とあわせて構築。
4. デマンドレスポンス(DR) による居住者への省エネ促進策についても、サービス連携することで居住者による自発的な省エネ行動を促進。

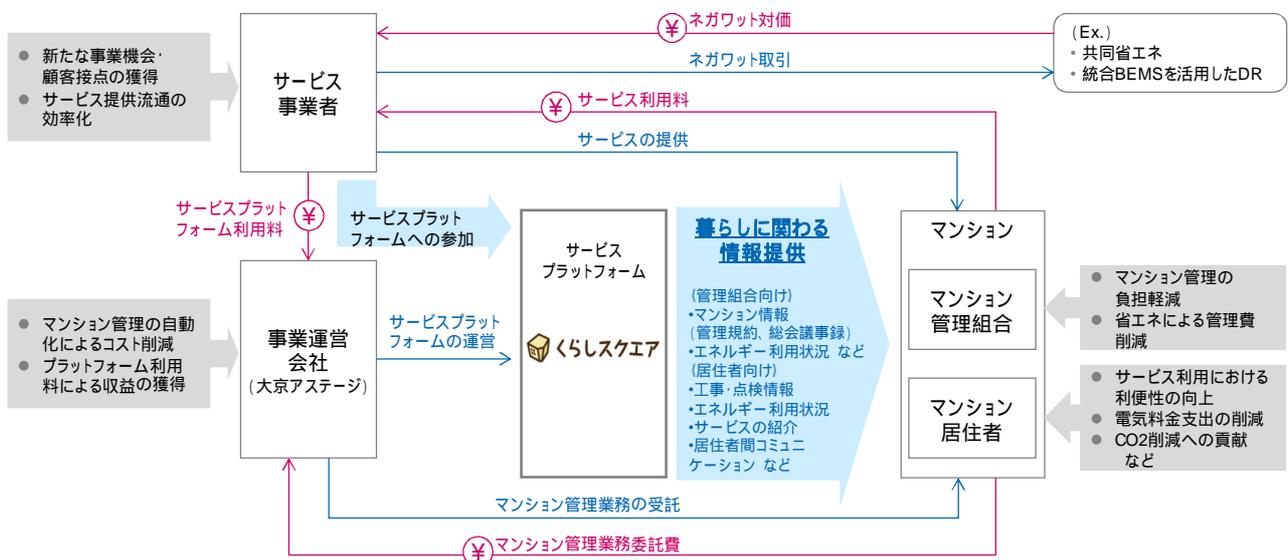
以下詳細

1. 4棟200戸の選定については、横浜市内で大京アステージが管理受託している管理組合様のうち、電力一括受電サービスを受けているまたは、受ける予定の管理組合様に参加のご提案をして決定。
2. 大京アステージは既に既存マンション向けの管理組合ごとのWebサイトを有しているが、本実証の見える化サービスを将来のプラットフォームビジネスの一つと捉え中長期的な視野にたって今回の補助事業を有効活用して開発。
3. 「大京コンソーシアム」において「見守り・駆付け」「セキュリティ」「高効率機器交換促進」「生活関連サポート」「居住者福利厚生」などのサービスを創出予定であり、本趣旨に賛同して本コンソーシアムに参加する事業者は以下の予定（五十音順）。
 - ・株式会社ジュピターテレコム
 - ・株式会社セコム
 - ・株式会社セントラル警備保障
 - ・株式会社ダスキン
 - ・東京ガス株式会社
 - ・株式会社東芝
 - ・株式会社野村総合研究所
 - ・東日本電信電話株式会社
 - ・株式会社ベネフィット・ワン
4. デマンドレスポンスとは「卸市場価格の高騰時または系統信頼性の低下時において、電気料金価格の設定またはインセンティブの支払いに応じて、需要家側の電力の使用を抑制するよう電力消費パターンを変化させること（Assessment of Response & Advanced Metering, FERC(2011)）」を指しますが、本実証では広義的にデマンドレスポンスを捉え、電気料金の価格の設定等ではなく、連携するサービスにインセンティブを持たせることで省エネ行動を促進できるかを実証。

本実証における定量目標

- ・ HEMS、MEMS 導入による CO₂ 排出量の削減 10%
- ・ DR および生活関連サービス連携による CO₂ 排出量の削減 5%・・・など

【実証成果を活用したサービスプラットフォームの概念図】



採択された補助事業について

1. 補助事業の名称

- ・補助対象事業名：平成 24 年度「次世代エネルギー・社会システム実証事業」にかかる横浜市スマートシティプロジェクトにおける事業
- ・事業名称：「家庭向けサービスの利用を通じた既築集合住宅におけるエネルギーマネジメントの実証」

2. 補助事業の目的

スマートコミュニティの構築に必要となる実証事業と関連技術の国際標準化に係わる取り組みを国が補助するもので、平成 23 年度より事業を開始したところですが、平成 24 年度は、震災後のスマートコミュニティのニーズの高まりを踏まえ、実証を一層本格的させるとともに、実証から実装に向け、実証成果のビジネス化、社会制度へのインプット等を行うことを目的としています。

3. 補助事業の開始および完了予定日

- (1) 当年度の事業期間 平成 24 年 8 月 3 日～平成 25 年 3 月 10 日（予定）
- (2) 全体の事業期間 平成 24 年 8 月 3 日～平成 27 年 3 月 10 日（予定）

4. 補助事業の内容

(1) 補助事業の内容

大京アステージは、マンション居住者およびコミュニティとの接点を活かして、マンション内のエネルギーマネジメントおよびコミュニティ・サービスを提供することで、居住者の「安心」や「快適」を向上させながら、低炭素なコミュニティの実現を企図している。大京アステージでは、この趣旨に賛同する家庭向けサービス事業者を「大京コンソーシアム」として組織し、居住者に対する持続的なサービスモデルの検討を進めてきました。

本実証テーマは、将来的な事業展開を見据え、大京コンソーシアムで検討するサービスモデルの実現性と効果を実世帯で検証するものです。

(2) 補助事業の実施計画（平成 25 年度以降は予定）

平成 24 年度	<p>< 実証準備の完了 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証対象となる管理組合様および居住者様の HEMS の導入に関する同意の取得（既存の集合住宅において 200 世帯） ・デマンドレスポンス対応システムの開発 ・家庭向けサービスアプリケーション等の開発
平成 25 年度	<p>< 家庭向けサービスの充実 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・HEMS 導入時の居住者向け調査によるサービスニーズを踏まえたサービスアプリケーションの開発 <p>< 実証の実施 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用状況とエネルギーマネジメントの効果の評価およびフィードバック ・サービスモデルの実現性の評価および事業展開に向けた課題の導出
平成 26 年度	<p>< 実証の実施/評価・検証 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスモデルの実現性の評価および事業展開に向けた普及策の検証 ・CO₂削減目標 10%削減 ・デマンドレスポンスおよび生活関連サービス連携による効果の目標 5%のピークカット

大京アステージについて

大京アステージは、大京グループのマンション管理事業を手掛ける会社で、約 6,500 の管理組合、約 36 万世帯（大京グループ全体では約 8,000 の管理組合、約 44 万世帯）の居住者をサポートしており、管理組合や居住者に対してきめ細かな対応を行っております。2011 年 8 月にはマンション（管理組合）別の専用サイト「くらしスクエア」を提供しており、居住者との接点となる仕組みを既築および新築のマンションへの導入を進めております。

<会社概要>

- ・会社名：株式会社大京アステージ
- ・本社：東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-19-18 オリックス千駄ヶ谷ビル
- ・代表者：代表取締役社長 益田 知
- ・主な事業：マンション管理、修繕工事、マンションライフサポート

このニュースリリースに関するお問い合わせ先
株式会社大京 広報室（飯田・丸山） : 03-3475-3802